

## 【第1号議案】平成29年度事業報告承認の件

# 平成29年度事業報告書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

### 第1. 概 要

第2次安倍政権が発足してから5年半になりますが、昨年度の世界は、トランプ米国大統領、メイ英国首相、マクロン仏国大統領、文韓国大統領等と各国の政権が大きく変わりました。さらに、米国の環太平洋経済連携協定（TPP）の離脱、英国のEU離脱と経済協定の変更があり、中国・ロシアの長期政権と霸権主義により領海侵犯による国土の安全が問題となりました。また中東や朝鮮半島の核開発による不安定情勢が大きく報じられた1年でした。

国内では森友学園売却問題、加計学園獣医学部新設問題、南スーダン国連平和維持活動（PKO）派遣部隊日報の保管問題等が政治の争点となり、政治の不安定要因となっております。また経済界にあっては日産自動車・神戸製鋼所や三菱マテリアル、東レの子会社による品質データの改ざんは、日本が誇った「高品質なものづくり」への信頼が大きく揺らぎました。

嬉しいニュースでは、桐生祥秀選手が男子100メートルで9秒98を記録し、日本選手で初めて9秒台の領域に踏み込みました。また、将棋の世界では、中学3年生の藤井聰太四段が、29連勝を記録、30年ぶりに歴代最多連勝記録を塗り替えました。更に、平昌・冬季オリンピックでは、過去最多のメダル獲得と選手の活躍は大きな感動と勇気を与えてくれました。昨年の国内重大ニュースとしては、天皇陛下の退位、新天皇即位式と同時に新年号の制定が来年4月末に決まったことでした。

このような動向の中で、政府は誰もが実感できる景気の回復を実現していくと「経済最優先」の取組んでいるようですが、我々中小企業が実感できるのは、まだまだ先になるのではと感じた1年でした。

当法人会においては、役員一丸となって会員増強を積極的に取り組んでおりますが、未だに多くの退会者があります。退会者の多くは、廃業・休業が退会理由であり、その数は4割を占めています。このような中、高橋会長は「会員の顔の見える法人会」「広報の強化」「各支部・部会等の連携」の3項目を2期目の「活動方針」として掲げ、活動してまいりました。

結果、広報委員会による当会情報誌「いづみ」の全面リニューアルをはじめ、練馬西税務署管内の小学校は21校での「租税教室」の実施、522枚の応募があつ

た「絵はがきコンクール」の実施、新規事業である「税金○×クイズ」の実施等、各委員会・各支部・各部会等の活性化に繋がる成果が伺えました。

## 第2. 事業成果について

平成29年度の事業計画においては、地域社会、地域企業の活力ある発展への支援活動の推進、公益社団法人制度改革に対応した事業活動の推進など14項目について事業計画をたてたところであります。

また、個別事業については、税知識の普及を目的とする事業など公益社団法人の事業区分に沿い計画化しました。

それらの計画に対して、全体的には、ほぼ予定通り実施することが出来たのではと考えているところであります。以下に具体的な事業の成果についてご報告いたします。

### 1、税知識の普及を目的とする事業

#### (1) 各種説明会の開催

「決算法人説明会－9回」及び「新設法人説明会－4回」を練馬西税務署と共に催し多数の方々（171名）に出席いただきました。

#### (2) 簿記講座の開催

例年の簿記講座を4月から6月にかけて土曜日1日講習として、6回実施致しました。本年度は19名の受講者全員に修了証書をお渡しました。

#### (3) 小学校での租税教室の実施

練馬西税務署管轄内小学校26校のうち21校、1,968名の児童を対象に実施しました。

#### (4) 役員合同研修会の開催

9月29日（金）「役員合同研修会」を練馬西優良申告法人会と合同で、勤労福祉会館大会議室において開催しました。多くの役員（40名）が出席し、平川伸一練馬西税務署長から「我が国の経済・財政について」のご講演をいただきました。

#### (5) 税務合同研修会に替えて小学生を対象とした「税金○×クイズと映画鑑賞」を実施

8月6日（日）小学生対象「税金○×クイズと映画鑑賞」を練馬区立関区民ホールにて、102名の参加をいただいて開催いたしました。

第1部は「マリンとヤマト」のDVD上映、「税金クイズ」を実施し13名の方に賞品を贈呈、第2部は映画「ペット」を上映。アンケートを実施し68名の回答を頂き、「楽しかった」「面白かった」「勉強になった」と好評な面もあったが、運営方法や告知方法等に多くの課題があり、次回に繋げていきます。

#### (6) 各支部の税務研修会

平成29年度の支部別研修会には7支部合計335名の参加をいただきました。詳細は別紙のとおりです。(8ページ参照)

#### (7) 部会の税務研修会

女性部会(2回—71人)、青年部会(1回—39人)、源泉部会(5回—130人)の税務研修会を実施しました。

#### (8) 練馬こぶしハーフマラソンの支援

3月25日(日)練馬区主催による第4回目の練馬こぶしハーフマラソンが実施され、ランナー5,000人が参加し、好天に恵まれた中で開催されました。当法人会は協賛者としてプログラムに「協賛広告」を出しました。

### 2、納税意識の高揚を目的とした事業

#### (1) e-Taxの普及を図るための事業

役員企業、会員企業、一般市民等に税務研修会や会報等で周知し協力を依頼しました。

新たな試みとして今年度は、練馬西優良申告法人会から提供頂いた「ICカードリーダー」6台をプレゼントいたしました。

#### (2) 税に関する絵はがきコンクールの実施

東法連の女性部会で取り組んでいる「税に関する絵はがきコンクール」において練馬西税務署管内の小学校12校から522通の応募作品の中から、下石神井小学校6年生の林優花さんが練馬西税務署署長賞、大泉学園緑小学校5年生の兵頭杏都さんが東京都練馬都税事務所所長賞、下石神井小学校6年生の坪田栞奈さんが練馬区長賞、大泉桜学園5年生の早坂奈々さんが練馬区教育委員会教育長賞、関町小学校5年生の藤原桜美さんが練馬西法人会長賞、石神井台小学校5年生の福濱小春菜さんが練馬西法人会女性部会長賞をそれぞれ受賞しました。

全法連への提出した大泉学園緑小学校の兵頭杏都さんの作品が、東法連女性部会連絡協議会にて会長賞を受賞し、京王プラザにて親子で授賞式に参加して頂きました。その他に優秀賞10名を含めて各小学校を訪れて賞状と図書カードをお渡し致しました。

受賞した16作品は2月15日から3月15日まで、「練馬西税務署」に展示、そのほかの作品140作品は大泉学園駅前「ゆめりあフェンテ」に展示いたしました。

#### (3) 税の作文コンクール、税の標語コンクールに協賛

練馬西税務署と練馬西納税貯蓄組合連合会で実施している平成29年度「税の作文コンクール」では、1,754作品の中から「税と私たち」と題して書いた練馬区立小中一貫校大泉桜学園の山口隼さんに「練馬西法人会会長賞」

を授与しました。また、練馬西税務署と練馬西間税会共催で実施している平成29年度「税の標語コンクール」では、1,360作品の中から「育もうみんなの将来 税金で」と詠んだ練馬区立小中一貫校大泉桜学園の山根哲哉さんに「練馬西法人会会長賞」を授与し、共に賞状と記念品を贈呈しました。

#### (4) 年末調整説明会の開催

毎年、練馬西税務署、練馬区、練馬西法人会三者共催による年末調整説明会を実施しております。本年度は関区民ホールが使用できず、上石神井南地域集会所とゆめりあホールの2会場で270名の参加をいただきました。

### 3、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

#### (1) 平成30年度税制改正要望事項について

税制改正要望アンケートを実施し、会員58名の回答を頂き、5月8日に税理士川名直司先生による「勉強会」を実施、「外形標準課税の拡大に反対」「消費税の軽減率に反対」「消費税インボイス制度の導入に反対」「法人税少額減価償却資産の取得価格の損金算入特例の恒久化持続」等、要望書を提出し、常任理事会や理事会等において税制改正要望についての周知を図りました。

#### (2) 平成30年度税制改正要望全国大会（福井市で開催）には、正副会長（5名）および事務局長（計6名）が参加しました。

#### (3) 年4回発行の「情報誌いづみ」に次のような税制関連記事を掲載し周知徹底を図りました。また、合わせてHPにも掲載し周知しました。

4月発行「春106号」・・・平成29年度税制改正大綱の主な内容

10月発行「秋108号」・・・平成30年度税制改正提言事項

#### (4) 練馬西法人会の地域に関する国會議員および練馬区長、練馬区議会議長へ税制改正、行財政改革の推進に関する要望書を提出しました。

#### (5) 「29年度税制改正のあらまし」等の冊子を税制委員会、各支部・各部会研修会等で配布し、会員に「会社の決算・申告の実務」「税金ガイドブック」と一緒に配布周知を図りました。

### 4、地域企業の健全な発展に資する事業

#### (1) 環境研修会への参加

東京都が実施している中小規模事業所の地球温暖化対策報告書の協力は会員企業に協力要請を行いました。

その結果、会員企業55社の協力を得て、地球温暖化対策報告書を東京都に提出しました。

#### (2) 税務6団体等友誼団体との連携・協調

東京税理士会練馬西支部をはじめとする税務協力団体並びに友誼団体との連携・協調を図りつつ、理解と協力を得て小学生を対象とした「租税教室」の法

人会事業推進に努めました。

## 5、地域社会への貢献を目的とする事業

### (1) 「照姫まつり」への参加

4月23日（日）開催の「照姫まつり」に参加しました。

小学生対象の税金クイズに答えた正解者の方に差上げた「アートバルーン」は長い行列ができるほど大変人気がありました。また、模擬1億円の重量当てでは、大人の方にも人気がありました。例年より多くの方が来場されたため、景品（バルーンと鉛筆セット）やチラシなどの配布資料が早くなくなるなど盛況裏に終了しました。

### (2) 駅前地区清掃事業の実施

大泉学園駅、石神井公園駅、上石神井駅、武蔵関駅の4駅で6月、9月、12月の3回実施し、会員、家族、一般の方々など293名の参加を頂きました。

9月には平川税務署長をはじめ職員の方から4駅を激励に廻っていただきました。また、12月は石神井公園駅にてぬいぐるみ「イータ君」の清掃お手伝いを実施。

### (3) ジョイセフ収集ボランティア活動

使用済古切手（8,5kg）、インクカートリッジ（19,8kg）の収集を行いジョイセフに送付いたしました。

（ジョイセフは、開発途上国の妊産婦と女性の命と健康を守るために活動や教育の機会に恵まれない子供たちの就学に役立てる活動等をしている団体です。）

### (4) 地域チャリティゴルフ大会のチャリティ基金を寄付

平成29年10月5日（金）に開催した第6回地域チャリティゴルフ大会においてチャリティに賛同して頂いた基金250,331円を前川練馬区長を通じて、九州北部豪雨災害被災者支援金として寄付いたしました。

### (5) 青年部会

① 地元の「わんぱく相撲練馬区大会」支援のため、青年部8名の協力と団扇（500本）の贈呈を行いました。

② 「税を考える週間」中の11月15日（水）練馬西税務署の駐車場にて恒例の「献血大会」を開催しました。受付171名のうち124名の貴重な血液をお預かりしました。参加者には「花の小鉢」を配布しました。今年も「骨髓バンク」登録ブースを設け、15名の方に登録を頂きました。

## 6、会員の交流に資する事業

### (1) 新春賀詞交歓会の開催

平成30年1月24日（水）ホテルカデンツア光が丘において、新春賀詞交歓会を開催しました。当日は、平川伸一練馬西税務署署長、前川燿男練馬区

長、菅原一秀衆議院議員、小林みつぐ練馬区議会議長、その他都議会議員など多くのご来賓をはじめ、総勢210名の方々のご参加をいただき、盛大に開催することが出来ました。

なお、29年度の新入会員の紹介を行い、会員交流を図りました。

#### (2) 支部・部会親睦研修の実施

今年の支部親睦研修は2支部の「キリンビール取手工場」、4支部の「葛飾柴又帝釈天」を散策、6支部の「三嶋大社」、7支部の「山梨さくらんぼ狩り」青年部会の「フィールドアスレチックとバーベキュー」、源泉部会の「国立印刷局と渋沢記念館」の見学等を実施し、計181名の方々に参加いただき、会員相互の交流が図られました。

#### (3) 各支部、各部会研修会の実施

各支部、各部会においては、税務研修会・地域研修会・健康経営講習会・企業研修会を開催し、それぞれ多彩な講師を招いての有意義な研修を行いました。

### 7、会員の福利厚生等に資する事業

- (1) 受託会社3社との共催による拡大厚生連絡協議会を開催するとともに各種保険のPR及び加入勧奨を推進するため、チラシやパンフレットの配布を行いました。
- (2) 会員各位の健康維持及び増進を図るため、年2回の健康診断を実施し159名の会員及び関係者が受診しました。
- (3) 今年度から「とうきょう共済」と代理所委託契約を結び、会員に火災保険、自動車保険と事業主・従業員の福利厚生事業を始めました。

### 8、その他この法人会の目的達成するために必要な事業

- (1) 会員増強運動を今年度も年間を通して継続的に推進しました。
- (2) 年4回の「情報誌いづみ」発行及びホームページを活用し、「税制改正」「マイナンバー制度」等の税務知識の普及、企業訪問「社長さんこんにちは」・各種事業実施結果の紹介等、写真を多くし、「見出し」をつける等、会員に親しまれるよう工夫するとともに、積極的に税に関する情報等を掲載するなど、公益法人としてふさわしい活動に努めました。また、インターネットのホームページの内容の充実と適時の更新を図り、対外広報活動を推進しました。
- (3) 例年どおり練馬西税務署に対して当法人会より確定申告の相談会場美化のため青年部会より「花の小鉢」を寄贈しました。
- (4) 練馬区主催の『成人式』セレモニーの賞品として8名分の「グルメ商品券」を寄贈しました。